

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）カリキュラム

科目名		内容	
I 講義			
1	強度行動障害がある者の基本的理解	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害 強度行動障害の定義 強度行動障害支援の歴史的な流れ 知的障害／自閉症／精神障害とは 行動障害と家族の生活の理解 危機管理・緊急時の対応
		②強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携
2	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的な知識	③強度行動障害と制度	自立支援給付と行動障害 他
		④構造化	構造化の考え方 構造化の基本と手法 構造化に基づく支援のアイデア
		⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み 支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ
		⑥虐待防止と身体拘束	虐待防止法と身体拘束について 強度行動障害と虐待
		⑦実践報告	児童期における支援の実際 成人期における支援の実際
II 演習			
1	基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	情報の入手とその方法 記録とそのまとめ方と情報共有・アセスメント
2	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	②固有のコミュニケーション	様々なコミュニケーション方法 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議／まとめ
3	行動障害の背景にある特性の理解	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する氷山モデル グループ討議／まとめ